

# 宇宙から見た水のふるさと ～900万人の暮らしを支える、相模川と酒匂川～

富士山や丹沢の森に降った雨は、相模川(桂川)や酒匂川となって、相模湾へと流れています。900万人を超える人々が暮らす神奈川県で、私たちが使っている水の9割が、相模川と酒匂川でまかなわれています。森は水のふるさと。かながわの森と水を守るための取組をご紹介します。

- 【凡例】
- 県(郡)界
  - 相模川水系の流域界
  - 酒匂川水系の流域界

## かながわの森と水を支える財源

900万人を超える県民が毎日使うかながわの水。それを育む水源環境を守るために、県民の皆さんに「水源環境保全税」(個人県民税の超過課税)という特別なご負担をお願いしています。

県では、県民の皆さんからいただいた「水源環境保全税」をもとに、水源環境を保全・再生する取組を進めています。

税率 (平成26年度～平成28年度)			
区分	標準税率 (ア)	上乗せ率 (イ)	合計 (ア)+(イ)
均等割	1,500円	300円	1,800円
所得割	4%	0.025%	4.025%

水源環境保全税

- 納税者一人当たりの平均負担額は?**  
→ 年額約 890円
- 適用期間は?**  
→ 平成24年度から28年度まで(5年間)
- 税収規模は?**  
→ 年額約 39億円(5年間で約 195億円)

詳しくは、パンフレットP14を見てね!

### かながわの森と水(水源環境)は、県民の皆さんに支えられています



- 水源環境保全・再生事業のさらに詳しいことは…
- パンフレット「かながわの水源環境の保全・再生をめざして」
  - 冊子「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」
  - DVD「かながわの水源環境の保全・再生をめざして—特別対策事業の取組と成果—」
  - 県ホームページ「かながわの水源環境の保全・再生をめざして」  
※画面下部の「資料集」から、①～④全ての資料をご覧ください。

Facebook 見てね!  
かながわ しずくちゃん

かながわ 水源環境

発行 水源環境保全・再生かながわ県民会議  
編集 水源環境保全・再生かながわ県民会議  
コミュニケーションチーム

資料請求・問合せ先  
神奈川県 環境農政局 水・緑部  
水源環境保全課 調整グループ  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
Tel: 045-210-4352 (直通)  
Fax: 045-210-8855  
Mail: suigenkankyo@pref.kanagawa.jp

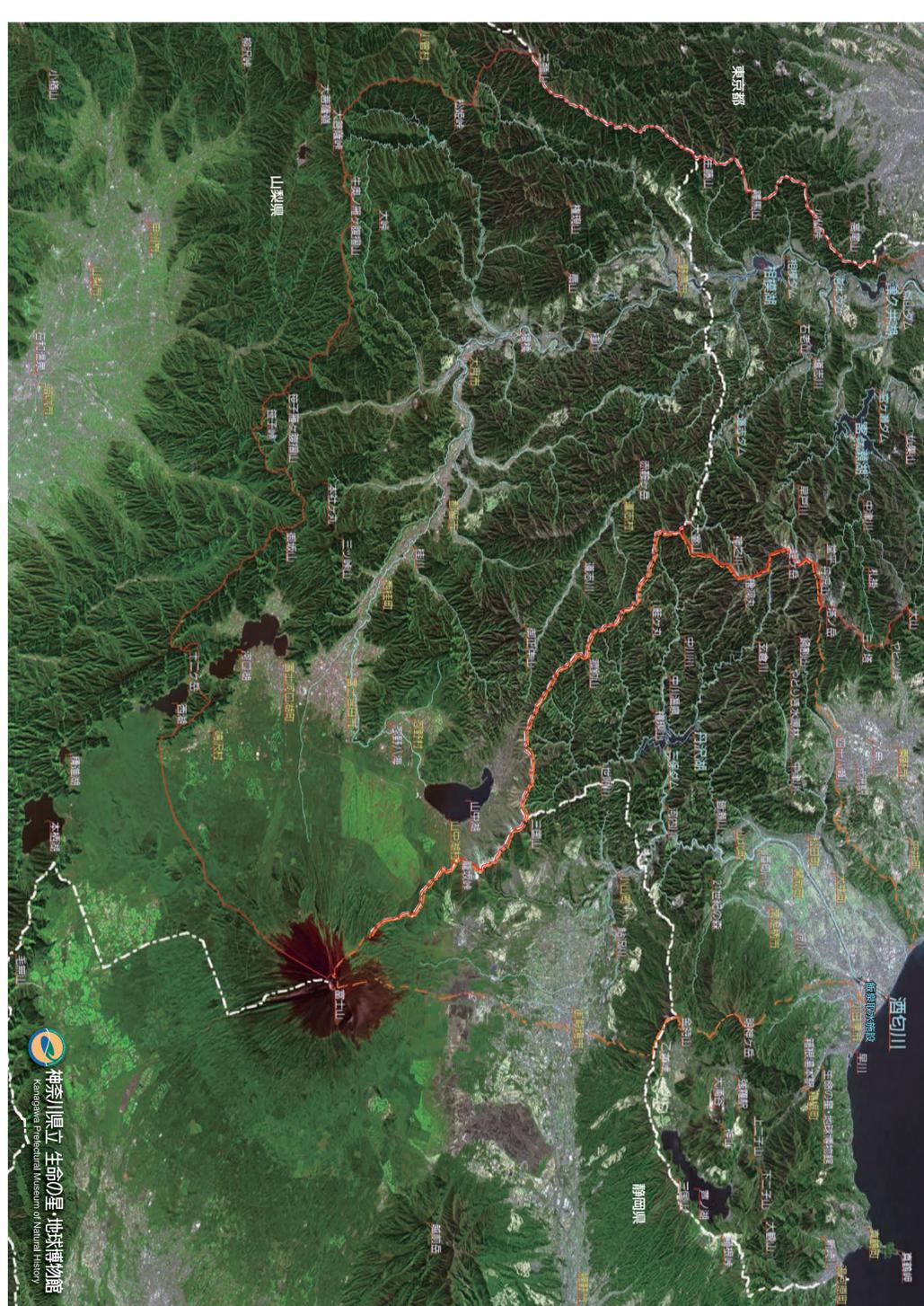
## 支えよう!! かながわの森と水



わたし、水の妖精しずくちゃん。かながわの森と水を支えるって、どういふこと? これから一緒に見ていこう!



水源環境保全・再生イメージキャラクター しずくちゃん



神奈川県立 生命の星・地球博物館  
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

# かながわの森と水



# かながわの森と水を守る取組

### 森を「緑のダム」にするために

**この森、大丈夫?**

人工林では、手入れ不足で荒れた人工林 → 手入れがされた健全な人工林

自然林では、下草を食べるシカ、土壌流出 → ワイルドライフ・レンジャーによるシカの管理捕獲、丸太柵などによる土壌流出の防止

県ではこんな取組をしています!

森には「水を貯える」「山崩れを防ぐ」「水をきれいにする」はたらきがあり、「緑のダム」と呼ばれているよ。大切なのは、これらははたらきを十分に発揮できる元気な森にすることだよ。

外国から安い木材が輸入されて木材が売れなくなったことで、間伐などの手入れがされなくなると荒れた人工林、日光が入りすぎると草が生えないので、降った雨水がすぐに土と一緒に流れ出てしまいます。県では、「緑のダム」のはたらきを高めることをめざして、人工林の手入れをしています。

現在、丹沢ではシカがとも増えています。シカは森の下草をたくさん食べます。森に下草がなくなってしまうと、土の中に水を貯えるはたらきが弱くなってしまいます。

県では、水を育む森とシカの共存をめざして、シカの適正な保護管理を行っています。また、土壌流出対策や植生保護柵の設置、ブナの立ち枯れの調査研究も行っていきます。

詳しくは、パンフレット P4~5 を見てね!

### 自然豊かな河川にするために

**この川、大丈夫?**

両岸がコンクリートで固められた川 → 自然の豊かさを取り戻した川

コンクリートで固められた川は、石や土砂がためこみやすいため生き物がすみにくく、水を浄化する機能が発揮されません。

自然浄化機能が十分発揮され、様々な生き物がすめるよう、県では、市町村が行う自然豊かな水辺環境の整備や川の水質を改善する取組を支援しています。

県ではこんな取組をしています!

詳しくは、パンフレット P6~7 を見てね!

### 良質な地下水を守るために

県ではこんな取組をしています!

田んぼに水を張って地下に浸透させる水田かん養(秦野市) → 地下水を浄化する施設(秦野市)

地下水は、県の西部や中央部の地域において重要な水源です。しかし、アスファルト舗装の増加によって、雨水が地下に浸透する量が少なくなるなど、地下水の減少や水質の悪化などが心配されています。

県では、市町村が行う雨水を地下に浸透させ、地下水の量を増やす地下水かん養の取組や地下水の水質保全の取組を支援しています。

詳しくは、パンフレット P8 を見てね!

### ダム湖の水をきれいにするために

**この湖、大丈夫?**

湖に発生したアオコ → 湖に流入する生活排水

アオコは、水中の植物プランクトンが大量に発生し、水面が緑色になる現象です。

アオコは生活排水に含まれる窒素やリンがダム湖に流れ込み、富栄養化によって発生し、水道水のカビ臭の原因となります。

高度処理型合併処理浄化槽

ダム湖への生活排水の流入を防いで、ダム湖の水質を改善するため、県では、ダム湖周辺で市町村が行う公下水道や窒素・リンを取り除く高機能な浄化槽の整備を支援しています。

詳しくは、パンフレット P6~7 を見てね!

### 相模川上流域の山梨県と共同して

県ではこんな取組をしています!

手入れされた桂川流域の人工林(山梨県) → 桂川清流センターのリン除去設備(山梨県大月市)

相模川の上流は山梨県にあり、ダム集水域のほとんどが山梨県内に広がっています。そのため、相模川流域の水源地環境を保全するためには、山梨県と共同して取組を進める必要があります。

県では、平成24年度から、山梨県と共同して、山梨県内の桂川流域の森の手入れや、山梨県の下水処理場である桂川清流センターの処理水からダム湖のアオコの原因となるリンを取り除く対策に取り組んでいます。

詳しくは、パンフレット P9 を見てね!

**Q 私たちが飲んでいる水はどこの水?**

A 横浜や川崎を含む県内の水道の約8割が相模川、約3割が酒匂川によってまかなわれているよ。相模川のダムに流れ込む水の多くは、山梨県から流れてきているの。

**Q 水はどのように利用されているの?**

A 炊事、洗濯、お風呂、水洗トイレなど家庭で使う生活用水がもっとも多くなっているよ。最近では節水意識の高まりもあって、水の使用量は減る傾向になっているけど、今後も一人ひとりが節水を心がけていかないとね。

**Q どうして水のために森が必要なの?**

A 川は、森に降った雨水が集まってできるんだよ。だから森は水のふるさとなの。きれいな川の水が生まれるためには、元気な森が必要なのよ。

**Q 森と水を守るために、神奈川県ではどのようなことをやっているの?**

A 神奈川県では、将来にわたり良質な水を安定的に県民の皆さんが利用できるようにするために、平成19年度から、森の手入れや水をきれいにするための特別な取組を計画的に進めているよ。

詳しくは、パンフレット「かながわの水源地環境の保全・再生をめざして」P1~3、10~11を見てね!

# かながわの森と水(水源環境)を守る 県民参加の取組

県民の皆さんと一緒に、かながわの森と水を守る施策の立案、事業の実施、評価、見直しを行っています。

詳しくは、パンフレット P9、13 を見てね!

### 県民会議

県には、大学の先生や団体の代表、公募委員などからなる「水源環境保全・再生かながわ県民会議」が置かれています。

県民会議は、水源環境保全・再生施策に県民の皆さんの意見を反映するため、事業の実施状況を点検・評価し、その結果を分かりやすく情報提供する活動を行っています。

県民会議の様子(神奈川県庁) | 県民会議による事業モニター | リーフレットの発行

### 県民フォーラム

県内の各地で開催し、かながわの森と水の現状や取組内容・成果をお知らせするとともに、対話を通して皆さんの意見を伺っています。

県民フォーラムの様子

### もりみず市民事業支援補助金

森の整備や川をきれいにする市民の活動を支援し、情報交換の場を提供しています。

市民団体による森林整備

### 森林づくりボランティア

森の中で、間伐や枝打ち作業を実際に体験し、森の手入れの大切さを体感していただくことができます。

ボランティアによる森林整備

お問い合わせ (公財)かながわトラストみどり財団 電話 045-412-2255 ホームページ www.ktm.or.jp

# 水源環境を保全・再生するための12の取組

県では、水源環境を保全・再生するため、20年間の全体計画と5年ごとの実行計画を作って、12の取組(特別対策事業)を推進しています。

5年間(平成24~28年度)の事業費は、12事業全体で約195億円(単年度平均約39億円)です。

詳しくは、パンフレット P11、12 を見てね!

- 水源の森林づくり事業の推進**  
水源地域の森を「緑のダム」にするために、間伐など森の手入れをしています。(67億4,900万円)
  - 丹沢大山の保全・再生対策**  
丹沢大山地域の森で、土の流出を防ぐ柵の設置や、下草を食べ尽くさないように増えすぎたシカの管理捕獲をします。(12億8,400万円)
  - 河畔林整備事業**  
水源地域の渓流沿いの森の手入れや土の流出を防ぐ柵、下草などを守る柵を設置しています。(8,000万円)
  - 間伐材の搬出促進**  
森の手入れを進めるために、間伐した木の市場などへの運び出しに助成しています。(12億8,500万円)
  - 地域水源林整備の支援**  
地域の森と水を守るために、森の手入れを進める市町村を支援しています。(31億4,000万円)
  - 河川・水路における自然浄化対策の推進**  
地域の川を自然豊かにするために、水辺環境の整備に取り組む市町村を支援しています。(17億7,100万円)
  - 地下水保全対策の推進**  
地域の地下水を守るために、かん養や水質保全に取り組む市町村を支援しています。(3億2,200万円)
  - ダム湖集水域における公下水道の整備促進**  
ダム湖の水をきれいにするために、周辺の下水道整備を進める市町村を支援しています。(13億7,100万円)
  - 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進**  
ダム湖の水をきれいにするために、周辺の合併処理浄化槽の設置を進める市町村を支援しています。(20億7,600万円)
  - 相模川水系上流域対策の推進**  
山梨県と共同して、山梨県内の桂川流域で森の手入れや川をきれいにする対策をしています。(3億6,500万円)
  - 水環境モニタリングの実施**  
森や川の状況を調査して事業効果を測り、県民の皆さんに情報提供しています。(8億5,700万円)
  - 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み**  
県民の皆さんの意志を反映しながら、かながわの森と水を守る施策の立案、事業の実施、評価、見直しを進めています。(2億3,000万円)
- ( )内は5年間の事業費